

令和2年度事業報告

項 目	内 容
電話・面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（0120-43-0874）等で受理し対応した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。 ○ 電話・面接相談の受理状況 受理総数 70件（相談実人数 31名） 電話57件、面接13件 居住地域～東部38件、中部11件、西部20件、県外 1件 主な内容～性犯罪、暴行傷害、その他 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者等に専門家（精神科医、臨床心理士）を紹介したり、西部相談所において週1回常駐している臨床心理士によるカウンセリングを実施し、精神的負担の軽減を図った。（3件：実人数1名） <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した。（1件）
直接的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて付添い、送迎等の支援を行った。 支援実施総数 8件（支援実人数1名） 弁護士事務所等付添い 5件 送迎 3件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急避難場所の提供 1件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国被害者支援ネットワーク被害者緊急支援金の支給 1件
犯罪被害者等給付金申請補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 なし
自助グループに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会等の際、会場、資料、情報提供等の支援を行った。（3回） ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った。（8回）

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「被害者支援を考える公開講座」を開催 9月28日 倉吉未来中心セミナールーム（参加者約30名） 犯罪被害者等支援条例の必要性の理解を深め条例制定への動きが活発化することを目的に開催した。 ・ 「鳥取県被害者支援フォーラム」を開催 11月27日 倉吉未来中心大ホール（入場者約200名） 鳥取県性暴力被害者支援協議会の業務委託を受けたことに併せて性暴力への理解と関心を深めてもらうために講演会などを行い県民の被害者支援意識の高揚を図った。 ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催 4回4校実施（高校3校、中学校1校） 犯罪被害者ご遺族の講演を通じ中・高校生等に対して命の大切さの意識高揚を図った。 ○ 啓発パネル等による展示会の開催 11月17日から27日の間 倉吉未来中心アトリウム 鳥取県性暴力被害者支援協議会と合同で「鳥取県被害者支援フォーラム」のPRや支援活動を紹介する啓発パネル等を展示した。 ○ ホームページによる広報活動の推進 ホームページを更新することにより、支援センターの組織体制、業務の内容、活動状況、相談窓口の案内、新着情報等をタイムリーに掲示できるよう改善し、支援センターの利用を広報した。 ○ 広報・啓発用ポスター、リーフレット等の作成、配布 ポスター、リーフレット、チラシ等を作成して、関係機関等での掲示や街頭活動、講演会、研修会等での配布を行い、支援センターの広報及び被害者支援に対する意識の高揚を図った。 ○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） センターだより第23号（7月）、24号（2月）を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 ○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月17日、倉吉市内のショッピングセンターにおいて、県、警察、センター役員、ボランティアと合同で、「犯罪被害者週間」（11月25日～12月1日）に併せた意識啓発と「鳥取県被害者支援フォーラム」（11月27日）への参加を呼び掛けた。 ・ 鳥取県警察音楽隊プロムナードコンサートにおいて広報用ティッシュ等を配布しセンター周知の広報を実施した。（1回） ○ 被害者支援講演会等の実施 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演等を行った。（4回） ○ 鳥取県協働提案・連携推進事業に申請し、鳥取県の補助金を受けて、センター認知度アップを図ることを目的とする鳥取県協働提案・連携推進事業（「涙のち 晴れ」プロジェクト）計画書を策定した。
<p>関係機関・団体等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県外研修会等への参加 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「全国被害者支援ネットワーク」等が主催する会議や研修会は中止や制限があったため参加を取りやめた。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の関係機関との連携強化 被害者支援に係わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席するとともに連携について協議を行った。 																
<p>被害者支援ボランティアの養成、研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 募集活動 新聞広告の掲載（3回）やチラシ（500枚）を作成しボランティアの募集活動を行った。 ○ 第13期生被害者支援ボランティアは5名の応募者があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため養成講座を取りやめ、次年度に受講希望を確認し実施することにした。 ○ 継続研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ センター主催研修 3回実施（延べ35名参加） ・ 電話相談の待機時間を利用したDVD教材等による自主学習に取り組んだ。 																
<p>財政・体制強化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファンドレイジング活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国犯罪被害者支援ネットワークの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し、不要本の売却金を寄付していただく活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月11日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の1%を寄付していただく活動を実施した。 ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業（1月～3月末）に参加し、募金活動を実施した。 ・ 「有限会社 亀井堂」様のご協力を得てサンドイッチ（直売所限定）を寄付型商品（犯罪被害者支援商品）として販売し、売上金の一部を寄付していただく活動を実施した。 ・ 賛助会員の拡大と寄付型自動販売機、募金箱の設置拡充に取り組んだ。 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">寄付型自動販売機</td> <td style="padding-right: 20px;">61台</td> <td style="padding-right: 20px;">（前年度</td> <td>57台）</td> </tr> <tr> <td>募金箱</td> <td>198か所</td> <td>（前年度</td> <td>189か所）</td> </tr> <tr> <td>寄付</td> <td>団体</td> <td>183団体</td> <td>（前年度 129団体）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個人</td> <td>368名</td> <td>（前年度 332名）</td> </tr> </table> 	寄付型自動販売機	61台	（前年度	57台）	募金箱	198か所	（前年度	189か所）	寄付	団体	183団体	（前年度 129団体）		個人	368名	（前年度 332名）
寄付型自動販売機	61台	（前年度	57台）														
募金箱	198か所	（前年度	189か所）														
寄付	団体	183団体	（前年度 129団体）														
	個人	368名	（前年度 332名）														
<p>組織の運営体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正会員数：26名 団体 18団体（前年度 18団体） 個人 8名（前年度 8名） ○ 賛助会員数 団体 82団体（前年度 80団体） 個人 166名（前年度 179名） ○ 職員数 常勤職員：2名（事務局） 非常勤職員：4名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局：1名（経理担当） ・ 西部相談所：3名（うち1名はカウンセリング担当） ○ 臨時職員：1名 ○ 支援活動員（ボランティア）登録数 35名 																

令和2年度鳥取県性暴力被害者支援協議会 事業報告

1 事業

(1) 性暴力被害者支援事業

ア 令和2年度支援員活動

① 性暴力被害者支援センターとっとり（クローバーとっとり）

開設日数 257日

支援員活動延べ人数 880人

事務局対応延べ回数 455回

・令和2年度登録支援員：43名

・令和2年4月20日(月)～5月6日(水)まで新型コロナウイルス感染全国非常事態宣言発令のため支援員による電話相談対応一時中止。（～5月16日まで宣言延長）事務局対応とした。

・令和2年5月18日(月)から支援員による電話相談対応再開。新型コロナウイルス対策の徹底。

② LINE 相談

実施日：令和2年7月13日(月)～9月30日(水)

実施時間：平日10時～18時

対応者：事務局職員

③ Cure time（内閣府 令和2年度性暴力に関する SNS 相談支援促進調査研究事業）

実施日：令和2年10月2日(金)～令和3年1月30日(土)（12月29日～1月3日）を除く

実施曜日：月曜日・水曜日・金曜日・土曜日

実施時間：16:00～21:00

鳥取担当曜日：水曜日

対応者：支援員8名・事務局職員2名でローテーション対応

再開：令和3年2月15日(月)～3月31日(水)

実施日：水曜日を中心に9回

イ 令和2年度性暴力被害者への対応（被害状況別）

被害状況	件数	対応（支援状況）
レイプ	16%	電話相談、面接、付添支援、医療的支援
強制わいせつ	40%	電話相談、付添支援、法律相談、カウンセリング、医療的支援
性虐待	2%	電話相談、面接、カウンセリング
DV	20%	電話相談、面接 付添支援、法律相談
セクハラ	4%	電話相談、面接
その他・不明	18%	電話相談 面接

〔属性・対応（支援）状況内訳〕

(ア) 被害者性別

女性	男性	不明
86%	10%	4%

(イ) 年代別

①相談時

13歳未満	13歳～19歳	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
6%	16%	18%	16%	14%	8%	8%	14%

②被害年齢

13歳未満	13歳～19歳	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
14%	22%	14%	12%	12%	4%	6%	16%

(ウ) 地域別

①現在の居住地

東部	中部	西部	県外	不明
48%	4%	28%	6%	14%

②被害発生地域

東部	中部	西部	県外	不明
36%	4%	30%	16%	14%

(エ) 期別

急性期	中長期	不明
56%	22%	22%

*急性期は被害発生から6か月以内

(オ) 対応（支援）状況別

支援内容	延べ件数
(1) 電話相談	241件
(2) 面接相談	35件
(3) LINE 相談	7件
(4) 直接支援（付添支援、産婦人科医療、精神科医療、カウンセリング支援、法律相談等）	33件
計	316件

(カ) LINE 相談

友達登録 : 27件

応答があったもの : 7件

相談内容 : 夫婦間の性被害、画像拡散について、SNS 上のトラブル等

ウその他

時期	事業概要
令和2年5月18日(月)～	■Instagramでクローバーととりの広報開始
令和2年7月末～	■教職員向けリーフレット作成配布(15,000部) 幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教職員、教育委員会、児童福祉施設職員等へ配布
令和2年10月～	■全国共通ダイヤル開始 #8891

(2) 啓発・支援員研修等事業

ア 支援活動カンファレンス

時期	事業概要
令和2年4月26日(日)	■令和2年度第1回支援活動カンファレンス 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和2年6月27日(土) 9:30～11:10(東部) 13:30～15:10(西部)	■令和2年度第2回支援活動カンファレンス ○内容 ・ケースカンファレンス ・電話ロールプレイ ○会場:西町分庁舎多目的室 西部総合事務所 ○参加者数:19名

令和2年8月29日(土) 13:00~15:00	■令和2年度第3回支援活動カンファレンス ○研修 内容：子どもの性暴力被害 子どもの性暴力被害を聞くとは、児童相談所の役割や相談の流れについて 講師：米子児童相談所職員 判定課長：山口 美保子氏 児童心理士：小松原 慶一氏 ○支援活動について 支援状況 電話相談からの直接支援への流れの確認 ○会場：新日本海新聞社 中部本社ホール ○参加者数：28名
令和2年10月25日(日) 10:30~12:10 (西部) 15:30~17:10 (東部)	■令和2年度第4回支援活動カンファレンス ○内容：支援状況について意見交換 事例検討 電話ロールプレイ ○会場：消費生活センター研修室 県民ふれあい会館 ○参加者数：23名
令和2年12月26日(土) 9:30~11:10 (東部) 13:30~15:10 (西部)	■令和2年度第5回支援活動カンファレンス ○内容：支援状況について 事例検討 ○会場：県民ふれあい会館 西部総合事務所 ○参加人数：17名
令和3年3月13日(土) 13:30~16:00	■令和2年度第6回支援活動カンファレンス ○内容：セルフケア（呼吸法と顔ヨガ Moana yoga 吉田 尚子氏） 1年のふりかえり ○会場：倉吉上井公民館 ○参加人数：14人

イ 支援員研修

令和2年8月1日(土) 10:00~16:15	■直接支援員研修 ○内容：支援員の役割、ポイント・留意点など 直接支援ロールプレイ ○講師：原田 薫氏（ウィメンズセンター大阪代表） ○会場：倉吉未来中心 セミナールーム1 ○参加人数：16名
令和2年8月2日(日) 10:00~16:00	■支援員研修 ○内容：電話相談スキルアップ 電話ロールプレイ ○講師：原田 薫氏（ウィメンズセンター大阪代表） ○会場：倉吉市上井公民館 ○参加人数：13名
令和3年1月9日(土) 10:00~12:00	■支援員研修 ○内容：性の多様性について 自身の性、ジェンダーについて振り返る（ロールプレイ） ○講師：徳永 桂子氏（思春期保健相談士、ウィメンズ・こうべ所属） ○場所：日本海新聞社中部本社ホール ○参加人数：16名

ウ 子どもを性犯罪・性暴力の当事者にしないための教育・啓発の推進のための学習プログラム検討会

令和3年1月9日(土) 13:00~16:00	■支援員研修 ○内容：発達段階に応じた性暴力についての伝え方、模擬授業 ○講師：徳永 桂子氏（思春期保健相談士・ウィメンズこうべ所属） ○会場：日本海新聞社中部本社ホール ○参加人数：16名
----------------------------	--

令和3年2月7日(日) 13:30~15:30	■プログラム検討会第1回 ○内容：ワークショップ、プログラム検討 ○場所：倉吉体育文化会館 ○参加人数：15名
令和3年2月28日(日) 13:30~15:30	■プログラム検討会第2回 ○内容：ワークショップ、プログラム検討 ○場所：倉吉体育文化会館 ○参加人数：16名
令和3年3月28日(日) 13:30~15:30	■プログラム検討会第3回 ○内容：ワークショップ、プログラム検討 ○場所：倉吉体育文化会館 ○参加人数：16名

エ 協議会主催公開講座

時 期	事 業 概 要
令和3年1月23日(土) 10:30~11:45	■子どもと大人が“性について”楽しく学ぶ “からだ”と“こころ”のいきいきタイム ○助産師さんとの座談会 ○絵本の読み聞かせ ○サンドアート上映会（サンドアートパフォーマー 田村 祐子氏） ○会場：鳥取市立中央図書館 ○対象者：5歳～小学生くらいまでの子どもと保護者 ○参加者数：29名

オ 共催公開講座

時 期	事 業 概 要
令和2年11月27日(金) 13:30~16:15	■鳥取県被害者支援フォーラム ○講演 「性暴力の被害者も加害者も生まないために～今、私たちにできること～」 ○講師：山本 潤氏（一般社団法人 Spring 代表理事） ○会場：倉吉未来中心 ○対象者：一般県民、被害者支援・相談関係機関職員等 ○参加者数：68名

カ 他団体主催研修への参加

時 期	事 業 概 要
令和2年7月29日(水) 13:30~15:30	■令和2年度相談スキルアップ講座 ○内容：「家族のコミュニケーション」 講師：北野 真由美氏（NPO 法人えんばわめんと塚） ○会場：倉吉未来中心 ○参加者：1名 ○鳥取県男女共同参画センター主催
令和2年8月28日(金) 13:30~15:30	○内容：「夫婦（パートナー）のコミュニケーション」（中止） 講師：吉岡 俊介氏（オフィスよしおか） ○会場：とりぎん文化会館 ○鳥取県男女共同参画センター主催
令和2年9月17日(木) 13:30~15:30	○内容：職場のコミュニケーション ○講師：高山 直子氏（カウンセリング&サポートサービスN） ○会場：米子市文化ホール研修室 ○参加者：3名
令和2年8月4日(火) 8月11日(火) 8月19日(火) 13:30~15:30	■令和2年度性的マイノリティ支援相談員人材育成研修 ○テーマ：「そもそも性ってなんでしょう？～思春期のリアルに寄り添う～」 ○講師：葉山 美紀子氏（思春期保健相談士） ○会場：東・中・西各所 ○参加者：10名 ○主 催：鳥取県総務部人権局人権・同和対策課

令和2年9月3日(木) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ:「LGBTとはトランスジェンダーへの支援について」 ○講師:中塚 幹也氏(岡山大学大医学院教授) ○会場:倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ○参加者:6名
令和2年9月24日(木) 10:00~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ:「コミュニティスペース」「行政ができること」 ○講師:いのもと氏、六色 かや子氏(NPO法人QWRC) ○会場:倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ○参加者:6名
令和2年9月25日(金) 10:00~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ:「LGBT相談基礎・相談対応」「ケーススタディ」 ○講師:いのもと氏、六色 かや子氏(NPO法人QWRC) ○会場:倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ○参加者:9名
令和2年10月16日(金) 10:00~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ:「学校教育と性の多様性」 ○講師:真野 豊氏(広島修道大学非常勤講師) ○会場:倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ○参加者:7名
令和2年10月23日(金) 10:00~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ:「ジェンダー・セクシュアリティを巡る人権課題」 ○講師:仲岡 しゅん氏(弁護士) ○会場:倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ○参加者:10名
令和2年11月18日(水) 11月19日(木)	<p>特別講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマ「LGBTが“より生きやすい社会”とは？」 ○講師:砂川 秀樹氏(文化人類学者) ○会場:県庁講堂、倉吉未来中心、西部総合事務所各会場 ○参加者:12名
令和2年11月23日(月祝) 14:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回 性暴力救援センター全国連絡会 代表者会議 ○内容:半年間の国の動きと課題、内閣府の動向報告 各団体より現況報告(参加団体28) ○参加者:2名
令和3年11月14日(土) 14:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回 性暴力に関するSNS相談「Cure time」対応者 研修 ○内容:セクシュアルマイノリティの方への対応について 事例、意見・質問等 ○講師:セクシュアルマイノリティ専門家 大槻 知子氏 ○参加者:5名
令和3年1月25日(月) 14:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■第2回 性暴力に関するSNS相談「Cure time」対応者 研修 ○内容:自殺対策SNS相談～「生きづらびっと」の活動実績等～ 事例、意見・質問等 ○講師:特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク 根岸 親氏 ○参加者:5名
令和3年1月27日(水) 14:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■第3回 性暴力に関するSNS相談「Cure time」対応者 研修 ○内容:「性的搾取・デジタル性暴力」～相談支援の現場から～ 事例、意見・質問等 ○講師:特定非営利活動法人 ぱっぷす ○参加者:6名
令和3年1月29日(金) 14:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■第4回 性暴力に関するSNS相談「Cure time」対応者 研修 ○内容:自殺対策SNS相談 ○講師:特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク 根岸 親氏 ○参加者:6名
令和3年1月～3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度「性暴力、配偶者暴力等被害者支援のためのオンライン研修」 ○主 催:内閣府

キ 相談窓口等の広報

時 期	事 業 概 要
令和2年7月	<ul style="list-style-type: none"> ■日本海新聞にてLINE相談、相談窓口周知 ■毎日新聞にてLINE相談、相談窓口周知
令和2年7月	<ul style="list-style-type: none"> ■トラック協会の会報にリーフレットを掲載し窓口周知
令和2年7月13日(月) ～9月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■LINE相談 チラシ 県立・私立高等学校、専門学校、大学等 17,000部
令和2年7月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ◆鳥取東高等学校2学年 性に関する指導 LHR 「性の権利～お互いを尊重するってどういうこと～」 講演・相談窓口周知(約280名)
令和2年7月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◆鳥取大学地域学部 「自分と他者を大切にすること～性暴力の被害者も加害者も生まないために～」 講演・相談窓口周知(約100名)
令和2年7月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◆大山町建設協会、人権・同和問題研究会 「自分も他者も大切にすること～性暴力被害者も加害者も生まないために～」 講演・相談窓口周知(22名)
令和2年7月末	<ul style="list-style-type: none"> ■「性暴力被害から子どもを守るために」リーフレット配布開始
令和2年7月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ■朝日新聞 LINE、相談窓口周知
令和2年7月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ■山陰中央新報新聞にてLINE相談、相談窓口周知
令和2年8月4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ■NHK鳥取版にてLINE相談、相談窓口周知
令和2年8月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ■日本海新聞にて「性暴力被害から子どもを守るために」リーフレットについて掲載
令和2年11月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◆「令和2年度郡家警察署管内犯罪被害者支援連絡協議会」研修会 「性暴力被害者支援について」 講演・相談窓口周知(約30名)
令和2年11月12日(火) ～25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■女性への暴力をなくす運動 パネル展示 米子駅南イオン
令和2年11月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ■とっとり県からのお知らせ(日本海新聞) 鳥取県被害者支援フォーラムについて
令和2年11月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ■NHKふるさと伝言板にて被害者支援フォーラムPR
令和2年11月17日(火) ～11月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ■犯罪被害者週間にかかわる展示(倉吉未来中心アトリウム) 内容・犯罪被害者支援センター紹介、なごみの会紹介パネル ・性暴力被害者支援センター紹介 ・鳥取県被害者支援フォーラムの紹介
令和2年11月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■性暴力に関するSNS相談「Cure time」紹介カード 県内高校配布、児童福祉施設
令和2年11月号	<ul style="list-style-type: none"> ■米子市広報誌 クローバーとっとり相談窓口周知
令和2年11月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ■地域密着型広報誌「つばさ」「くらら」「こはく」にてクローバーとっとり相談窓口の周知
令和2年12月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◆県立智頭農林高等学校 性に関する指導 「性の権利～お互いを尊重するってどういうこと～」 講演・相談窓口周知(約110名)
令和3年1月～3月末	<ul style="list-style-type: none"> ■イオンモール鳥取北店、エスカレータ広告・フードコート内広報
令和3年1月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■鳥取県警 広報県民課通信 県警とクローバーと通りの性犯罪公費負担制度について紹介

令和3年3月末発行	■大山町人権・同和教育推進協議会 広報「ぬくもり」性暴力に関する特集にてクローバーとっとり相談窓口周知
随時	■リーフレット、パンフレットの配布 とっとり被害者支援センター『いのちの授業』、プロムナードコンサート、デートDV 予防学習会及び関係機関の皆様が講師を務められる際に配布いただく
随時	■ステッカーの貼付 トスク株式会社、すなば珈琲等で貼付いただく

2 運 営

(1) 協議会運営事業

内 容	概 要
協議会の運営	協議会の運営、庶務業務を実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染予防対策により文書決済 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告(案)及び収支決算(案)について ・令和2年度事業計画及び収支予算について ■協議会開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策により、中止。文書により意見をいただく(文書発送令和2年8月19日)
令和2年8月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度性暴力被害者支援事業の実施状況及び今後について ・支援員養成講座について ・性暴力被害者支援センターの支援状況について ・性暴力被害者支援センターの体制整備について
事務局職員の配置	協議会の業務を担当するため事務局職員(常勤1名、非常勤1名)を配置する。

3 他の補助金の活用の有無

(有 ・ 無)

活用する補助金名	事業内容	問合せ先

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問合せ先(補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先)を記載してください。